



おめでとう! 第71回全日本合唱コンクール全国大会 金賞受賞

須賀川市立

第二中学校合唱部のキセキ

10月28日、長野県長野市で開催された「第71回全日本合唱コンクール全国大会」中学校部門・混声合唱の部で須賀川市立第二中学校合唱部が金賞(ゴールド)に輝きました。見事、受賞を果たした皆さんの全国出場への軌跡と合唱にける熱い想いをたどりま。



平日は放課後2時間、夏休みは繰り返し練習に励みました。



点数は95点。残りの5点は後輩たちに頑張ってもらいたい!



笑ってごう!とステージへ。本番を100%楽しめました。



「パートをまとめるだけでも大変だったけど、本番は気持ちよく歌い、楽しめた」と話す8人のパートリーダー。



終わった時の拍手と歓声がとても嬉しかった!



受賞メダルを先生に贈ろうと頑張りました!

先輩から後輩へ託された「全国への夢」

須賀川二中は、『あいさつ』の二中歌声の二中『We love 二中』をスローガンに掲げる合唱の伝統校。代々「歌う楽しさ」が受け継がれ、全校生がクラス合唱を披露する文化祭の前には、練習を重ねる生徒たちの歌声が校内に響きわたります。



「金賞を告げられた瞬間は驚きました。頑張ってくれたみんなに感謝したい」と喜びを語る合唱部顧問の上澤史子先生

合唱部は『歌声の二中』の中心的存在として、「全日本合唱コンクール東北大会」に出場を重ねてきました。しかし、全国大会は19年前に2年連続で出場した混声、16年前に金賞を受けた女声にとどまっています。全国トップクラスの合唱王国・福島で、東北大会出場は十分誇れるものですが、部員たちにとって「全国」は必ず叶えたい夢でした。その期待が再び高まったのは、10数年ぶりに混声が復活した6年前。常設の女子部員に加え、新3年生の男子が特設部員として参加するようになり、混声合唱が可能になったことからです。

80の声、8つのパートが一つの豊かなハーモニーに

今年3月、全学年52名の女子と28名の男子(うち特設部員25名)の総勢80名が混声の部として練習を開始しました。歌うのは、「プレリユード」「アニヌス・デイ」

「ここからここへ」歌声を届けたい

合唱部には、以前から大切にしていた目標とテーマがあります。まずは「あいさつ・返事・気配り」。ようずに歌う前に、基本をきちんと身につけよう。先輩から後輩へ徹底されてきた目標です。「人として当たり前のことができれば演奏力も上がり、歌う力や集中力も高まります。部員のみならず、体験的に理解してくれています」と上澤先生。

もう一つのテーマは、先生のいう「ここ」のつながり。合唱部の応援旗「ここからここへ」が、その象徴です。部長の鴻野歩さんがテーマの意味を教えてくださいました。「一人一人のここをつなげて歌い、聴いて下さる方、先輩や先輩方、地域の皆さんへ、歌声で感謝を伝えること。後輩にも、感謝のこころを忘れずに仲間を増やし、『歌声の二中』の伝統を引き継いでいってほしいと思います」。

部長 鴻野 歩さん
「金賞受賞は、一緒に全国をめざしてきた先輩方のおかげです。何度も練習に顔を出して応援してくれた先輩たちへの感謝が伝わるように想いをこめて歌いました」



釈迦堂川花火大会や、市内の敬老会などで歌声を披露することも。



▲11月14日、市民の皆さんへの感謝を込め、金賞受賞の「記念演奏会」が催されました。



▲「第71回全日本合唱コンクール全国大会」。磨きをかけた美しい歌声を、会場いっぱいに響かせました。(写真提供:福島民報社)